

PCAGIPセミナーPart3

村山正治先生講演会・ワークショップ

クライアントが並行して活用する多職種専門家と支援をめぐる課題

2015年9月24日(木)・25日(金)

会場: 創思館 303・304教室

講師: 村山 正治 先生 (九州大学名誉教授)



＜講演会＞ (テーマは昨年と異なりますので昨年参加した方も是非参加してください)

24日(水)13:00～15:00

クライアントが並行して活用する多職種専門家と支援をめぐる課題

—PCAGIP法による事例検討経験の蓄積とそこから見えてくる支援の在り方—

＜ワークショップ＞

第1部: 24日(水)15:30～18:00

①PCAグループによる夢ワークの体験学習

第2部: 25日(木)9:30～15:00

②PCAグループをベースにした新しい事例検討法「PCAGIP法」の実習

③クロージング

村山正治先生が開発したPCAGIP方式による事例検討を経験することで、事例の見方を学び、支援者同士がチームとしてサポートしあう姿勢を身につけることを目的としています。2013年度から続く人気プログラムの第3弾です。

- 講演会は応用人間科学研究科の院生と教員、カウンセラーの希望者を対象とします。
- 臨床心理学領域M1の院生は必ず受講してください。
- ワークショップは、①②③全てに参加できる応用人間科学研究科の院生(定員30名)を対象とします。
- 参加希望の方は事務担当: 北川までメールすること kitagw-a@st.ritsumeai.ac.jp
メール件名【PCAGIPセミナー申込】・学生証番号・氏名

＜申込締切9月10日(木)＞



＜講師プロフィール＞

村山正治 (むらやましょうじ)

京都大学博士課程修了、教育学博士。臨床心理士。昭和38年京都市教育委員会指導部カウンセリングセンターを経て、昭和42年に九州大学着任。現在は名誉教授。九大退官後、久留米大学、東亜大学、九州産業大学教授。学校法人九州学園理事・評議員。専門は臨床心理学、人間性心理学、パーソンセンタード・アプローチの理論と実践、スクールカウンセラー事業の発展と評価研究。最近の著書としては『ロジャースをめぐる』(金剛出版、2005)、『新しい事例検討法PCAGIP入門』(創元社、2012)、『現場で役立つスクールカウンセリングの実際』(創元社、2012)『PCAグループ入門』(創元社、2014)『心理臨床の学び方』(創元社、2015)など。